



「予防力」と「対処力」で「地域の安全力」をアップ!!

小学1年生も入学から3カ月が過ぎて学校生活や通学にも慣れ、友達の家や習い事など一人で行動することが多くなってきます。

今年も不審者を見かけたという情報があり、子どもたちが犯罪にあわないための「予防力」と、何かあった時の「対処力」を身に付けさせ、自分を守れるようにしてあげましょう。

西当別小学校3年の親子レクで行われた「安全パワーアップ教室」を通して「予防力」と「対処力」についてご紹介します。

近年の不審者情報

年	発生件数				
	町全体	本町地区		太美地区	
		小学生対象	その他	小学生対象	その他
2014	11件	2件	2件	3件	4件
2015	5件	0件	2件	2件	1件
2016	3件	0件	1件	1件	1件

資料提供元：札幌方面北警察署

安全パワーアップ教室

講師 武田信彦さん (うさぎママのパトロール教室)



不審者を意識しすぎると、知らない人はみんな不審者になってしまう可能性があります。そうではなくて、人とあった時に、一定の距離を保つことで自分の身を守れると考えることが大切です。

うさぎママのパトロール教室事務局
電話 03-5944-9596
URL www.usagimama.com

「予防力」ポイント1 一人にならない

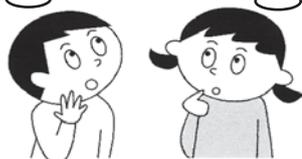


犯罪に巻き込まれるのは、ほとんどが一人のときです。外出はできるだけ親・兄弟、友達と一緒に出かけよう。

どうしても一人になってしまう時はあります。それはどんな時か考えてみましょう!

いつだろう?

家に入るとき?



なるほど
なるほど



子どもたちが安全に生活するためには、大人や地域の力が大切です。なにより挨拶をしっかりと、顔が分かり合えるための地域連携、ご近所付き合いが地域の安全を守るための第一歩となります。

この機会に町内会活動にも積極的に参加してみたいかどうでしょうか?

もしも、危険を感じたら、下の目印のある家に助けを求めましょう!



親子レクを担当した 小林香奈さん



新聞で安全教室のことを知り、保護者の方々と話し合ってようやく実現できました。

武田先生は専門の知識を、子どもでもわかるように説明してくださいました。実際に体を動かしたり、笑いがあつたりと子どもたちも、飽きることなく学べて本当に良かったと思っています。私たちも、あらためて、地域と子どもたちの安全について考えていかなければならないと思いました。

「予防力」ポイント2 よく見る、よく聞く



どうしても一人になってしまう時は「だるまさんがころんだ」を思い出して、周りをよく見て、周りの足音や車の音などもよく聞いて、自分の周りにどんな人がいるかしっかり確認しよう。



「対処力」ポイント1 距離をとる



人からつかまれることがなく、あいさつや話ができる距離をとりましょう。

新聞紙を広げて、一番長い所の長さ(約90cm)くらいがちょうどいいですね。

これならつかまれないけど、話ができるね!



ちょっと一言

知らない人と話をするときに、距離をとることは大人にとっても、変な誤解をまねかないためにも大切なことだそうです。



「対処力」ポイント2 しっかり断わる



「道が分からないから一緒に来て」とか「あめ食べない？」などと声をかけられても、しっかりと「できません」「いりません」と断りましょう。



「対処力」ポイント3 逃げて、伝える



危険と感じたら「逃げる」のが1番です。そのとき、周りに人がいれば大声で「助けて」と叫びましょう。日頃から助けてくれる人がどこにいるか確認するのも大切です。



地域力で
子どもたちの笑顔を守りましょう!